

# 高・低病原性鳥インフルエンザ 発生防止対策！！

## ★最近の状況 今シーズンは要注意！！

◇ 今期夏に南ロシア、アラスカで高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されており、営巣地でのウイルスが増えていると考えられるため、今シーズン、来シーズンは特に注意する必要があります！



◇ 過去2回の状況  
南ロシア  
平成18年  
平成22年  
平成28年

宮崎県  
平成19年1～2月  
平成23年1～3月  
要注意！！

★ 2016年夏季に野鳥において確認された事例  
 ■ 2016年に家きんで確認された事例のうちOIE等に報告があったもの  
 ※ 2016年9月23日までに  
 ⇄ 野鳥の渡り・移動

## ★発生防止対策

### ◇ 野生動物の侵入防止対策

- ・日頃から点検を行い、隙間、排水溝、通気口なども野生動物が通れないよう対策を！
- ・鶏舎にかかる樹木の枝打ちや鶏舎周囲の除草を！
- ・鶏舎内を整理整頓し、生息しにくい環境づくりを！
- ・エサを散らかさないよう清掃を！
- ・ラットサイン(フン、かじり跡、こすり跡、足跡)を見逃さず、捕獲器・忌避剤・殺鼠剤の設置を！

普段見かけなくても  
夜に侵入しているかも  
しれません！



針金を用いて  
ネットの破れを補修



鶏舎周辺の環境整備



整理整頓・清掃



捕獲器の設置

写真出典：公益社団法人中央畜産会

### ◇ 早期通報の徹底を！

- ・日頃から健康観察を入念に行い、異常があればすぐに下記連絡先に通報をお願いします。

宮崎家畜保健衛生所  
都城家畜保健衛生所  
延岡家畜保健衛生所

0985-73-1377  
0986-62-5151  
0982-32-4308

(日南駐在)  
(小林駐在)  
(高千穂駐在)

0987-64-2212  
0984-22-7011  
0982-72-2511

